

# 維持管理計画

## 1. 主要施設の維持管理

### (1) 貯留構造物

貯留構造物が機能を損なわないために、次のような管理を行う。

#### ① 廃棄物の確認

廃棄物の種類、形状、日埋立処分量等の確認（データ確認、目視等）

#### ② 埋立地内水位の確認

#### ③ 貯留構造物の変位等の確認

水平変位、鉛直変位（沈下）、外観形状（傾斜、ひずみ、ひび割れ、植生等）

### (2) しゃ水工

埋立の前、作業中、後において、次のような管理を行う。

#### ① 埋立開始前

目視による定期的な点検、法面シート保護用不織布の維持。

#### ② 埋立作業中

しゃ水工付近での廃棄物性状及び重機の走行に留意する。

検知システムによる漏水管理

#### ③ 埋立後

検知システムによる漏水管理

### (3) 雨水集排水施設

#### ① 集排水溝等の管理

水路の勾配、沈下等の定期的な観測及び降雨時等の流況の確認

土砂及び落葉等の堆積の確認

局所的な沈下等による枅と水路等接続箇所の確認

#### ② 埋立地表面集排水の管理

水路への流出状況の定期的な確認

覆土表面の凹凸及びクラック等の確認

#### (4) 浸出水集排水施設

##### ① 集排水管

竪型集排水管の管内水位及び流況の確認

##### ② 集水ピット

浸出水量の経時的変化の観測と降雨記録との対比による集水機能の確認。

浸出水の分析による管内土砂堆積状況の予測、埋立層分解状況の推測。

送水能力の確認

#### (5) 浸出水処理施設

埋立時期別、既設別、処理工程別に整理すると次のとおりである。

##### ① 埋立時期別

埋立初期には、埋立地内のシルト分、土砂が多く流入することがあるので調整池の排砂を適切に行う。また、初期は有機物濃度が比較的高いため特に生物処理工程に留意する。

埋立中期、後期は浸出水の水質は比較的安定するが、生物難分解性物質が増加するので特に凝集沈殿処理工程での適正管理に留意する。

##### ② 季節別

冬期間は、凍結に注意し水温調整を行い、生物処理工程での低負荷運転に対応する。

融雪期は、処理水量の著しい増加に対応させた運転管理を行う。

1) 冬期の間、調整池に水を入れない。

2) 埋立地内の除雪を行う。

##### ③ 処理工程別

凝集反応に最適な pH を確保し、反応時間、攪拌速度を適正にする。また薬品添加量を適正にする。

適正なろ過速度を維持し、適度な逆洗を行う。

#### (6) 発生ガス処理施設

発生ガスの状況や地盤の沈下状況から廃棄物層の安定化状況を把握する。

## 2. 管理施設の維持管理

### (1) 搬入管理設備

搬入管理設備は、施設へ搬入されるごみが受入れ基準に合致しているかの確認と計量・記録など、搬入管理設備においては次の管理を行う。

最終処分場へ搬入する埋立物の管理

最終処分場への受入れ基準に合致しているかどうかの判定は、搬入時の管理人による外観検査が中心となる、したがって、計量設備は管理棟に接した箇所に設け、搬入車に積載した内容物の確認がし易いように配慮する。

搬入管理はできるだけ自動化し、計量後、伝票（年月日、業者名、車種、品種、重量等）の発行及び集計（日報、月報等）ができるものとする。

搬入管理設備となるトラックスケールは、ごみを積載したままで車両の重量を計測する機能を有しており、車両が載る本体部と計測重量を指示・記録する計量部から構成されている。

トラックスケールはロードセル（4点指示）方式を採用する。

### (2) 管理棟設備

本計画での浸出水処理施設は小規模であるため、建屋は管理棟と処理棟を一体型とし、計量設備（トラックスケール）室を管理棟脇に併設し、効率的な作業動線が得られる位置関係とする。

管理棟の事務室は、水処理に係る中央監視室、電気室を兼ねると共に、受付室及びトラックスケール計量部を置いて搬入管理を行う。

管理人員は、2～3名、管理事務室の他、湯沸室、便所、浴室及び休憩室などを設ける。

### (3) モニタリング設備

最終処分場を適切に管理するため、搬入ごみ、埋立状況、浸出水、周辺水域（観測井）、発生ガス、悪臭についてモニタリングを必要に応じて行う。

モニタリング方法と設備は、下表のとおりである。

表 モニタリング計画

| 項 目              | 目 的                       | 方 法                        | 設 備              |
|------------------|---------------------------|----------------------------|------------------|
| 搬 入 ご み          | 最終処分場への受入基準に適合しているか確認する。  | 管理人による荷台の目視、抜き取り検査を行う。     | ・管理棟内施設          |
| 埋 立 状 況          | 安全・衛生を保持し、埋立地の安定化状況を確認する。 | 管理人による状況監視、測定を行う。          |                  |
| 浸 出 水            | 浸出水が排水基準を満足しているか確認する。     | 施設の適正管理及び定期的な放流水質試験を行う。    | ・計装設備<br>・水質分析機器 |
| 周 辺 水 域<br>(観測井) | 周辺水域の汚染が生じていないか確認する。      | 定期的に周辺水域の水質検査を行う。          | ・モニタリング井戸        |
| 発 生 ガ ス          | ガスの発生状況から有機物の分解状態を確認する。   | ガス抜き管開口部より、ガス温度、組成等の検査を行う。 | ・ガス抜き管           |
| 悪 臭              | 悪臭が発生していないか確認する。          | 定期的に機器分析あるいは官能試験を実施する。     | —————            |

### 3. 関連施設の維持管理

#### (1) 飛散防止設備

埋立にあたっては、ごみの飛散を防止するために、飛散防止ネットを設置する。

又覆土等をすみやかに実施することで対応する。

#### (2) 立札、門、囲障設備

施設への進入路の入口に施設の立札・門を設ける。